八日夕刊

磐城毎日新聞

□本紙一ヶ月　金六十錢
□郵稅　金十五錢
□一部賣　金三錢
□廣告料一行　金六十錢
□雜報欄　金九十錢
□場所指定一行　金一圓增
□電話（平）七八六番
□振替口座東京一〇八・五六五
福島縣平市田町十六番地
發行所　磐城毎日新聞社
發行編輯印刷人　森合英

世の父兄は入學試驗の時だけ大騷ぎをするが子弟を入學せしめてからの學校がどうであるかは全く無關心だ（讀賣讀者眼）

闊伽井嵐

信頼感の持てる人

森忠雄

吉岡老から指名を取げた以上沈黙を守るのもどうかと思ふから此の機會に所懷と一端を披瀝しておく。

「言論の横行」それも空疎にして實行力をともなはぬ言論の横行は實は我々若い者も苦々しく思つてゐる。從つて吉岡老の說は決して老の繰言ではなくて我々も文句なしに同意を表する次第である。

我々は大体大正時代に學校教育を受けて世の中に出たのだが、人間は立派な事は云つても實行しないのが當然であるといふ意識を持つてゐる、學校の修身の答案は嘉言善句を拾ひ集めて書く。しかしどうせ實行する意志は毛頭ない。記憶さへ好ければ物さへ知つてゐれば優等生で通つたものだ、かうして智力の競爭だけで學窓生活をつゞけて大學迄行く、我々は吉岡老のやうにお師匠さんに絶對の信賴をおいて敎へを受けた昔の人を羨ましく思ふ、若い者らしくもなく言葉が思はず詠嘆に流れてしまつたが理窟通りに世の中が行くものなら「複雜怪奇な國際情勢」なんていふ言葉を吐いて內閣を投げ出す必要もないではないか役人　教育家、政治家の第一の要求は萬卷の書を繙いて高遠な理想を說く事ではなくて崇高な人格であり、絶對の信賴を大衆から生徒から受け得る德の力である我々若い者もう美辭麗句の訓示や標語には飽き飽きしてゐる。

理窟でなしにその人柄にこちらが頭の下るやうな人物はわが平市に限らず日本國到る所で要求されてゐる。兎に角信賴感の持てる人が、人の上に立つやうになれば世の中は圓滿にゆくに違ひない。

文化協會とは

翼賛會文化部

△東北展望（下）

東北の各文化團体は概して何れも藝能的色彩を脱却して、地方文化運動をして國民生活全体を貫いて高い、新しい様式を確立して行く國民運動たらしめんと努めて居る。したがつて構成員も從來の政治運動には携はらなかつたものが時局に對して何らか積極的に挺身したいといふ、地方の健全なる有識中堅層を網羅しつゝある樣に思はれる。醫師及び地方新聞人の參加は、今回の文化運動には何れの地方に於ても見られる傾向であるが特に東北に於てこの事の著しいのは、東北の地方事情と思ひあはせて文化團体今後の活動に最も期待を寄せ得ることであらう。但し團体の構成は包括すべき範圍がなほ一般に云つて狹いと云ふ感は否定し難く、某縣のごときは特に其の文藝的色彩を拂拭して更に飛躍する必要があると思はれる。また地方文化運動を眞の國民運動として展開せんがためには、一方地方それぞれの行政機構と更に密接に關聯すると共に、他方强大な組織を持つ產組、產報、青壯年團、社會事業團体その他との協力關係を一層緊密化する必要があらう。

文化團体の多くが文化的交通性を有する地區、たとへば舊藩の領域を範圍として結成せられる傾向は特に東北に於て顯著である。このことは地方運動があくまで鄕土の傳統と地方の特殊性を尊重しなければならぬといふ意味に於て最もよき形態と思はれるがこゝに相戒めねばならぬのは地方鄕土の特殊性を强調するの餘り、文化團体が自己の存在のみを固執し、互に對立して國民運動として大きく發展するを阻害しはせぬかといふことであらう。文化團体各自が各々その特質を發揮しながら然もそれが割據主義におちいらず縣全体、東北全体、國全体として大きく運動を展開するやう、この點特に地方指導者の愼重なる配慮を煩はしたい。由來、東北は他の地方に比較して自然的、社會的、文化的に强固な共通性を持ち「東北」として大きく纒る可能性があると共に、特に今日の文化運動が日本文化の正しき傳統の自覺に基くものである限り、それを最も正しく保持してゐる東北が、地方に於て占める位置は極めて重要であると思ふ。今秋全國にさきがけて東北を縣代表による「東北文化振興協議會」も開かれる豫定にある、この時に當り東北各地の文化團体が「東北の使命」の自覺を更に强められんことを切に願ふ次第である、

國民優生法の話

松村亨

圭一「それからよく馬鹿と天才は隣り同志だと云ふがそう云ふ場合があつたらどうする」

十郎「そうだ。さつき云つた惡い病氣や素質があつても同時に天才とも云ふべき勝れた素質を併有する場合は之を助長する意味で手術を行はない」

圭一「大体ハツキリして來たが然し實際問題として手術を受けた等云ふ事が他人に知れると困るだらうな」

十郎「そうだそれにはこの手術は直接關係者以外には絶對秘密を守る事になつて居り、苦し違反すれば六箇月以下の懲役又は千圓以上の罰金に處せられる事になつてゐるから此の點安心だ」

圭一「いやお陰で大分利口になつた。この上はこう云ふ法律を一般の者に誤解されぬ樣よく判つて貰ふ事だな。結核豫防法等折角出來ても隨分誤解されてゐるからね。それから何の法律もそうだがこれが惡用されては困る」

十郎「それもそうだがこの法律の實施によつて惡質遺傳が無くなり國民が實際に恩惠を受けるやうになつて初めて何も彼も判ると云ふものだ。まあ君も一つ手術してはどうかね」

圭一「冗談は困るよ。アハヽヽヽヽ」（了）

俳句

渡邊何鳴選

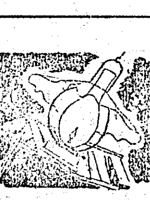
大くて

金子石城

道の邊の石のひかりも夏めきぬ
虫の群牡丹の花をむさぼれる
空は蒼地は新綠の風がある
虞美人草の赤きが散るゝ夕かな

霞ヶ浦所見

大くては五月の雨を集めたり
水高まり五月の空は日がもるゝ
漁舟青葦に波ひろげつゝ
青葦の葉騷に波は光りあり



異人劍法【23】

（禁無斷劇戲上演上映）

車谷弘

下山望東畫

初音旅（その五）

その瞬間、青空がチラと眩しく眸にしみたやうな氣がした。大聲に助けを呼んだつもりなのだが、草も木もしんと音なく靜もつてゐる。明るく一面にふり注いだ日の光が咽るやうな草いきれを燃え立たしてゐるばかりだ。初音は青草に顏をこすりつけ乍ら、氣が遠くなつてしまつた。

足もとにグタリとのびた初音の姿を、駕籠かき共は暫らくじつと眺めてゐる。

『ひどく骨を折らせやがつたがよう／＼參つちまやあがつた』

と手首の傷の血をポロ／＼となめて、

『定、氣を失つたとなると、このまゝにもして置かれめえが、お前はどうする積りなんだ』

草原に昏倒してゐる初音の襟あし、白く光つてゐた。明るすぎる白日にさらされて、亂れた裾がなまめかしく眼を射る。

カゴかきの定は果然と手をつかねて見下しながら、

『なア傳次兄哥、とう／＼こんな事になつたが、何だか無慈悲な氣もするなア』

『べら棒めえ、何を云やアがる、無慈悲が聞いて呆れらア、この女を見かけた時にお前何と云やアがつたゝ一度でいゝからこんな女を自分の女房にする事が出來りやア死んでもいゝと、手前は云つたぢやアねえか』

『そりやアさうだ』

『この女に、くどくカゴをすゝめたのも手前なら、俺にへんな眼くばせをして、こんな間道へ踏み込んだのも手前だぜ。手前で云ひ出しておきやアがつて、今度妙な云ひがゝりを付ける奴があるものか』

『そりやアそうだ』

『をかしな野郎だなア一々もつともだと云やアがる癖に、それがどうしたつてんだ』

『そりやアこの女を見た時は、いゝ女もあるものだと、俺あ全く驚いだぜ。手のとゞかねえ高嶺の花だと、むしやくしやして腹も立つた、それが今になつてみると、何だか夢のやうな氣もするし、怖ろしい氣持もするんだ』

『なアんだ、そんな事か、そんなら俺に禮の一つも云ふがいゝぢやアねえか。やつぱり武士の女房だけあつてなか／＼きかね氣性の女だ。思つたより骨が折れたが、もうかうなりやアこつちのものだ。生かすも殺すも御意のまゝだぜ』

『待つてくれい兄哥……』

『何をとめやあがるんだ』

と凄い眼で睨んで、

『はゝあ、手前、ケチな了間を出しやあがつたな、俺を出し拔かうと云ふんだな、ふざけた事を云やあがると承知しねえぞ』

傳次の見幕に定はちよつとひるんだが、意久地なく吃り乍ら

『そ、それがいけねえなら兄哥、俺はすつかりあきらめたから兄哥も綺麗に手を引いてくれ』

『ふざけるねえ、勝手な事は云はせねえぞ、俺はこの阿魔の畜生に大事な血まで流してるんだ手前が嫌ならひつこんでゐろ』

『待つてくれい阿兄、俺が惡かつた、あやまるから阿兄……』

『さうか』

と傳次があざ笑つた時、ふいに森林の向ふの山嶺に、天城の全山をどよもして、轟然といつせい射撃の銃聲がとゞろき渡つた。銃聲は嶺々に木靈して、木靈は木靈を呼び、不氣味な余韻がひゞいてゐた、

『うゝん』

とうめいて、初音がかすかにまた昏々と眠つてしまつた、

『いけねえ、定つ』

と傳次はひどくうろたへて、

『逃げるんだ』

定も眞青におびえてゐた。向ふ見ずに馳け出さうとすると、

『馬鹿つ、女を忘れる奴があるかつ』

と傳次が怒鳴つた

二人はあわてゝ、初音を山カゴへかつぎ込んで、しどろもどろに脚を亂して駈け出した

再び轟然ととゞろいた銃聲は、山も崩れんばかりに激しいひびきを傳へて來た、山嶺からは湧きたつ煙りが白雲のやうに流れ出してゐた。

わでん
平市新田町
電話三三番

肉の御用命は
三二三屋
牛も豚も優良品の自慢
平・大田町電323番

◎入院隨時◎
小兒科
內科
酒井醫院
平市南町（電五五番）
醫學博士　酒井保

曳前の御知らせ
漁船家屋其他
動產の移動
土木建築請負
鐵道船舶請負
仲仕請負
北村芳藏
小名濱町榮町築港地內
御希望の方は一應御相談下さい

△入院隨時▽
エツキス光線科
外科
內臟外科
安齋醫院
院長　安齋徹
平市田町　電五四七

眼科專門
眼鏡檢定
重田眼科醫院
平　驛前

濕布で名藥
漢方貼り藥
生公華
肋膜、氣管支關節、神經痛
肺炎、ロイマチス、扁桃腺
炎いぢ疾に
二圓五十錢
四圓
八圓
專賣店　平市五丁目角　山野邊藥局

外科
整形
胃腸
性病
內臟外科
腦脊髓病科
外科
整形外科
レントゲン科
理學療法科
內科
胃腸病科
肛門病科
花柳病科
皮膚病科
泌尿器科
醫學博士　松村亨
醫學得業士　松村鐵郎
松村醫院
平市南町　電一〇七

割烹　はまや
小名濱公園內
電話百廿番

債券、公債、兩替、金融
多田井質店
平市大工町　電話五九一番

故障の起らぬ
原口のラヂオ
原口無線電機株式會社製品は商工省選定一級品
MD-8號　微電界級　¥73.70
ラヂオは全部公定價格品です
ダイナミツク使用眞空管マツダ　12F 47B 57 58
MS-100號　微電界級　公¥5.60
ラヂオとデンキの店
古山電氣商會
平市二丁目停車場通り（電呼166）

酒
乙な自慢で
[illegible]

▲男女車掌募集
鈴木自動車部
平市四丁目　電話二一七番

和洋銅鐵、金物問屋
釜屋商店
電九九九

お宅の体温計は正確ですか？　無料で体温計を檢査して差上げます、どうぞ御遠慮なくお持ち下さい　毎月十日は
醫療藥品
工業藥品
有名賣藥
衛生材料
食糧品
寫眞材料
化粧品
吸入器用酸素
計量器
染料塗料
機械各種
品各種
計量器指定販賣所
みやと藥特約店
資生堂
小名濱町本町通り
電話一四七番

しつこりした病に
專門藥
岩里淵府淵藥　一週間分　金一圓五十錢
岩里別府散　七包入五十錢
十五包入壹圓
痛みある病、熱ある病に…
製藥本舖　別府市岩里（不然堂）
代理店　阿康藥局
平市古鍛冶町　電話四四
振替東京三〇四五六番

產婦人科
外科一般
花柳病科
黑澤醫院
小名濱町小學校前　電四五
醫學士　黑澤廣
【見習看護婦募集】

高級林檎酒　ミユキ
醸造元　青森縣弘前市　株式會社御幸商會
福島茨城販賣元　石井德重商店
久ノ濱町　電話三二番

巴式・長洲風呂
風呂釜
平市紺屋町　電三六六番
大谷建材店

フタバ磁氣療院
平市中町（公會堂通り）フタバ印刷所內
電話一九三番

◉國民擧つて防火塗裝を！
回危險に曝露する木造家屋
回手輕るに出來る防火家屋
回コロイド防火塗料の特長
專賣特許　太陽無機コロイド販賣店
大量使用の御注文並團体的御申込へは實驗の御希望に應じます
カタログ進呈
山田文一商店
平市仲町通り　電話二六二番地

女車掌募集
未經驗者を求む
【經驗者も可・本人御來談乞ふ】
三井自動車商會
平市二丁目　電話685番

自動車車掌助手男女急募
求人者　野崎交通自動車株式會社
人員　助手五名　車掌十名
年令　十六才以上二十才未滿
希望者　履歷書持參左記ニ申込ノ事
平國民職業指導所
電五六二番

醫院開業（入院室完備）
內科
小兒科
專門
午前宅診
午後往診
醫學士　石坂銈
平市六丁目　交番脇
石坂醫院

氾濫災禍を防ぐ
新川改修促進
市會促進委員内務省陳情

平市會の新川改修促進委員[illegible]議、野崎議長、關内與議の三名は青沼市長と共に今八日出福し縣知事へ陳情書提出、一行はそのまゝ上京、平から上京する萩原、川崎、山野邊・藤田の四委員と落合つて内務省の關係方面へ同河川促進と補助金增額方を陳情した

新川改修は夏井川の補助工事として昭和十二年工費四十餘萬圓投じ縣費支辨（國庫半額補助）で上流から起工尼子橋で方向を替へて下流から着工したが當初の豫算では全工費の半額に過ぎず現狀で進むと向十ケ年の歳月を要する狀況にあり斯くては市内長橋方面は洪水毎に大水害を受け耕作地の慘害も莫大な額に上るため一日も早く改修を促進するやう積極的運動に乘出すに至つたものである

内務省陳情書

縣費支辨新川古川改修工事は昭和十一年上流より着工歳月を閲すること四星霜漸やく本市の西端尼子橋の橋畔に達したるに過ぎず、而も本年度に入り同方面の工事を突如中止し當初の計畫を變更して逆に下流より施行する方途に出られたり本市は本工事施行以來大洪水に見舞はるゝこと、昭和十二年五月、仝十三年六月、仝十六年六月の三回に及びたるが、上流廣潤なる地域より流出する濁水は本市の咽喉部たる尼子橋附近に於て一時に放出する結果となり、爲に耕土を流出せしめ新川附近一帶の民家は床上浸水三尺に及び床下浸水戸數を合せ實に千數百戸を算し其の慘害甚大にして本工事の完成を見る迄は洪水毎に其の慘禍を繰返され、市勢の發展を阻碍するは過去の事實に徵し瞭かなる處にして市民の脅威不安大なるはなし從つて本工事の完成は一日も速かならむことを要望して已まざる次第なるが本工事の設計は昭和十一年以前に屬し工費總額四十萬圓程度に過ぎず現下に於ける諸物價勞銀等當時に比し倍加せる今日本工事を完成する爲には莫大なる豫算額の追加を必要とし之が財源の捻出は本縣財政上實に容易ならずと仄聞するに及び本市民は勿論、關係地方民の不安は其の極に達し居る現況に有之候

就ては本工事の定否は啻に本市民並に關係地方民の利害休戚に關する問題たるに止らず時局下主要農産物の增産確保上至大な影響を及ぼすべき重要事項なるに鑑み本工事遂行上必要とする工事費の增額に對し國庫より相當の補助を與へられ縣をして工事完成に闘する計畫の樹立及工事の進捗を企圖せしめ以て關係地方民の被る災害を救濟し民心の脅威不安を除去せしめらる樣特別の御詮議相仰ぎ度右市會の決議に依り此段及陳情候也

平市會議長
平市長

平沼其一郎殿

海産物加工組合
急速に實現
時局に對處・業者兩出發

小名濱町、海産物加工の權威伊藤三男氏は漁業、鮮魚、加工業の代表的立場の人々約五十名に對し經濟統制時代に順應し塩干魚業者も機構整備の要ありとなし去る六日午後二時小名濱海産物食料品加工組合事務所に參集を求め、懇談を遂げたが、曩に鮮魚、製造卸、及び加工、三組合の合同申合せもあつたが不調の壯態下にありと說明を爲し、改めて、こゝに工業組合を設立したい意向を述べ、參會者全員の賛同を求め懇談會より工業組合設立發起人會と發展し、工業組合設立に對する手續法規等は信用組合三浦主事の指導で順調に計畫を進め、名稱を〃小名濱海産物加工工業組合〃とし地區は小名濱を中心に玉川村、泉村及び江名町の下神白を包含する事、組合員の資格は汎い意味の海産物製造業者、最低口數二千五百口、一口二十圓（內第一回拂込十圓）とする、創立費一千圓を計上し創立委員二十餘名を擧げ創立委員長には伊藤三男氏が推擧され急速にその實現を見る事となつた、創立委員左の通り

△古港、志賀榮一、川村太吉、水野德次郎、△中島、小野豐次、馬上庄治、小野照吉、後田義之助、小野利一、高木忠治△中町、松原叶、櫻井吉五郎、馬上松太郎、大澤明、比佐庄藏、渡邊勝雄

△西町、高木嘉一郎、吉田龜之助、長瀨要、中村龍治、菅原勳、渡邊保、伊藤三男、松原正美△松の中、鈴木米次郎△泉村、吉田玉壽、因に事務所は當分海産物食料品加工組合を當てる事になつた

新任
稅務署長
滯納整理の手腕で拔擢
着任は十一日

平稅務署長川鍋孝藏氏は水戸稅務署長に榮轉後任は仙台稅務監督局經理部徵收係長工藤吉平氏が司稅官に拔擢されて任命された、工藤新任署長は十一日着任して事務引續きし川鍋署長は十五日頃赴任する

新任工藤署長は宮城縣本吉郡志津川町出身、明治四十一年岩手縣福岡稅務署員拜命したが病氣のため退職、大正十年二度の勤めをして二本松、米澤、楯岡、七戸を經て弘前稅務署の庶務課長から監督局に轉じ、經理部徵稅係となつて以來全國第一の滯納縣を整理した功績に依つて今回拔擢された手腕家である

尙平稅務署直稅課次席屬から岩手縣二戸稅務署の直稅課長に榮轉した新井元三氏は十二日午前八時發常磐線で赴任する

後任市長何人か
十三日夜の協議會注目さる

市會協議會は昨報の如く青沼市長の辭表受理に關する伊藤助役の報告を受けたのみで後任問題に觸れず、十三日夜公會堂日本間に於て更めて市會協議會へかけ懇談することになつた

青沼市長は健康上から再選されても固辭して受けない模樣なので青沼市長の重任は全く解消した形である、市會議長野崎滿藏氏、前代議士鈴木辰三郎氏說もあつたが市會の空氣は相容れない情況にある爲兩氏も斷念したものゝ如く大勢最も無難と囑目されてゐる山崎興三郎氏又平地區組合理事長に就任したばかりで商組の多難な前途を乘切る爲獻身的に努めねばならぬとの理由から事前に豫防線を張つてゐるらしいから目下の處混頓として表面に浮び出てゐる市出身の候補者無く、移入候補者として二三話題に上つてゐるものもあるが、何れにせよ決定までには相當曲折を免れない模樣で十三日に開かれる市會協議會が注目されてゐる

然し各議員共時局を考慮してゐるから相剋するやうなことはなく案外圓滿に進むらしい

汗の結晶配給
四丁目隣組の增産結實

平市四丁目第十一隣組（組長山田信次氏）では先に北白銀地內に約一反步の空地を借受け馬鈴薯を播種したがこの程三百貫の收穫があつたので明九日十一戸の隣組員總出動で「汗の結晶」を掘おこすことになつた

最初は五百貫の目標であつたが先月の出水で冠水、豫定より減收したわけ、尙ほ後作はサト薯百貫を目標に二十貫を播種

植田助役
北郷氏慰勞會

植田町では昨七日午後五時から同町みどりに前助役北郷半吉氏の歡送慰勞會を開いた

四市野球
廿日若松に開く

縣下四市親善野球大會は二十日若松市に開催と決定したが平市役所チームは十九日出場のため出發することになつた、メンバー次の如し

△投手、佐藤△捕手黑木

すると

現職應召へ
市吏員が慰問袋

平市役所では事變記念日の昨七日吏員現職中から應召して第一線にある

鷺廣次君（財務課）
草野豐喜君（勸業課）

の二君に慰問袋を作製

今八日發送した

鈴木技術員
山形の講習出席

平市農會鈴木技術員は十日から十三日まで山形に開かれる郡市農會技術員講習會へ出席のため今八日一週間の豫定で出發した

名産平窪の桃
生産五萬貫突破か

平市平窪の名産桃が出廻つて來た——上平窪の桃作は約十五町步あるが何れも開花後なので霜害にも見舞はれず極めて順調で昨年の五萬貫は優に突破するものと見られてゐる

現在のところ出廻も尠なく市内一日平均二百貫程度だが値段は公定の卸十八錢、小賣二十三錢より幾分さがつてゐる、出廻當初なので未だ今後の豫想付かぬが大体十三日頃（すい桃は二十日）から本格的な出廻を見せるものと期待されてゐる

一方梨の「長十郎」は霜害の大打擊を被り殊に上平窪方面は六割から二割の減收、全体的に見て約四割弱の減收見込みである

竊盜放火事件
徵役四年に檢事控訴

久之濱町字金ケ澤荷馬車曳北郷壽郎（三〇）に係る竊盜放火事件は去る二日平支部で求刑懲役十年に對し四年の判決言渡しあつたが、立川檢事は八日同判決を不服として檢事控訴した

技術員講習
昨日から一週間

縣農會主催技術員講習會は昨七日から十五日間石城三郡關係技術員四十一名が農事試驗場谷分場に參集、縣農會農試並に縣から講師が來場、主に食糧增産に關して講習する

小名警防團
防空演習
七、七記念日催し

小名濱町警防團では七日の事變記念日を期し警察の協力で無警告防空演習を擧行した……午前一時半警戒警報を發せられ二時空襲警報現示班の活動となり午前三時には家庭防火群の出動各所に燒夷彈の落下あり午前四時解除となり同五時半校庭に高木團長の講評あり好成績を收めて解散したが夜半の町民は寢耳に水で非常時局下の心構へを暗示された

昔今の平
【23】

明治四十四年點燈
文化に浴す
最初の取付僅か千八百個

灯火の話（中）

ランプの盛んな頃はランプ屋と言つてホヤ賣りが籠を擔いで街を賣り步いたものだが何時か新しい電氣やガス灯に押されて今はもうランプは舊時代の遺物となつて仕舞つた。

ランプの言葉を耳にすると平の人々はおそらくみんなあの泣き笑ひの表情で若芽の樣な襤褸をさげて急ぎ足にチョコ〳〵チョコ〳〵と平の街角から街角を步いて居たあの平名物ランプ屋乞食を思ひ出されるに相違ない。

惜しいことにあの男去る年の冬松ケ丘公園で凍死して仕舞つた。新聞によると石城郡好間村の生れで年齢は四十八、九才だつたと言ふ、隨分おぢいさんの樣だつたが、五十足らずでかつてランプのホヤ賣りをして居たとするとランプは隨分最近まであつたのだなと思ふと一緒に惜しい男を殺したもんだと思ふのはあながち記者の惡趣味ばかりではないと思はれる。さてこのランプも明治三十九年の平の大火後、電氣となりガスに變つた。

平の電灯の歴史はどうかと言ふと明治四十三年一月火力の磐城電氣株式會社と言ふのが初めて平に創設され今の大日本電力の處に用地を求め事務所は三丁目八番地に置いて同年の六月末、工事に着手し十二月の二十六日に工事が完成したので大晦日のあはたゞしい中に試送電を行ひ、四十四年一月一日から送電營業が開始されたものだ。

當時の取付燈數は千八百燈（これには湯本內郷も含まれて居る）だつたと言ふから大日本電力現在の平市だけの二萬二千燈に較べたら比較にならぬものであつた。平の電燈會社と言つても重役級は殆ど東京方面の人が多く初代取締役社長は淸水槌太郎氏、取締役は櫻內幸雄、藤島太膩夫、白井貞藏、山崎與三郎の四氏、監査役は高岡唯一郎、諸橋久太郎、（先代）根岸伴七の三氏、で、かつての商工大臣櫻內氏などもこの磐城電氣の重役だつた株主は總數十八名中、東京十名石城郡內三十八名で頭數では地元絕對多數だつたが持株から見ると東京方面五百八十八株、郡內四百二十二株で從つて地元の意見は中々通らず地元株主間には相當不平もあつた配電區域は平町と內郷村湯本村の一町二ケ村で成績は案外よかつた。

參考までに同會社事業開始前の明治四十三年七月から十二月までの下半期事業報告書をそのまゝ記せば

本會社工事は前期に於て報告したる如く諸般の準備既に完成し居たるを以て明治四十三年六月二十三日工事施行認可を得たると仝時に總ての工事に着手したるが基礎工事意外に難工事なりしと天候不良のため意外に延引し予期の開業を見るに至らざりしは遺憾とする處なるが、一意工事の進捗をはかり漸く仝年十二月二十六日竣成仝日直ちに檢査官の出張を願ひ仝二十八日出張檢査仝三十一日夜試送電を爲すに至りしは技術顧問以下の奮闘努力の結果にして開業は明治四十四年一月匆々の豫定なり尙現在取付を終りし燈數は千八百燈なるも日々申込順に孜々として點燈取付を急ぎつゝあるを以て三千燈に達するは近き將來なるべし

とあり工事は相當困難を極めたものらしい。また取付燈數千八百燈と前に書いたが申込燈數はわからないが送電のときはもつと增えて居たものと想像される

退職慰勞金
篠山、藤田氏決定

昨報、七日開かれた市會協議會で過般退職した第一校長篠山廉氏並青年學校指導員を辭した藤田榮助氏の退職慰勞金問題を附議、次の如く決定した

△一千圓、篠山廉
△百五十圓、藤田榮助

石城産婆校
慰問袋十一贈る

平市搔槌小路石城産婆看護婦學校では昨七日の記念日に職員並に生徒一同で慰問袋十一個を作製、市役所へ寄託した

尙ほこの外今八日若い女の人が名も告げずに慰問袋二個を寄託、市吏員を感激させた

娘の供養
百圓寄附

四倉仲町製材商植田萬治郎氏は長女昌子（一八）さん死去に依り今八日國民學校備品購入費用國防獻金に各五十圓宛を寄附した

新任署長挨拶

四倉警察新署長鈴木賢次郎氏は七、八兩日管內各關係官所等に着任の挨拶廻りした

門馬上等兵
十二日村葬執行

大浦村大字上仁井田字北濱農門馬小次郎さん長男上等兵東君（二四）は滿洲並中支戰線へ轉戰活躍中殘敵掃盪戰に參加名譽の重傷を受け○○野戰病院で陣歿、去月十五日無言の凱旋したが農繁期に當つてゐた爲葬儀を延期中の處十二日午後一時から同校で村葬執行することに決定した

同家は兩親の外に弟妹五人の大家族で働き手の東君が戰死を遂げたので村民から同情されてゐる

小名濱漁組
今日役員會開く

八日午前十一時小名濱漁業協同組合では役員會を開催し漁業資金借入の件、共同出荷特別會計取扱者選定に關する件、京濱地區魚類配給統制協會狀況報告の件その他を附議する

孝子 節婦
記念日に表彰

四倉町では昨七日の事變記念日をトし事變下に於ける孝子節婦及團體、個人等功勞者の表彰式を行なつた

△遺家族、仲町石川ミヨ（三七）新町松本トメ（三九）新町通野カツ（三八）仲町鈴木カネモ（五四）

△孝子、本町菅野良一（一九）

△節婦、志津栖原キン（三四）

△團体表彰、傳馬船組合、第三區第二隣組國防婦人會、藝妓組合

△個人表彰、菅波勇、小沼光造、渡邊留吉、本多辰吉、田中岩次郎、中野捨興、島田善吉、島田ツナ、鈴木唯治

平署員の
弓道會
記念日の心構へ

平署では昨七日午後二時から同署官舍前で事變記念弓道大會を開いたが成績次の通り

△一等、丹治部長△二等、木村部長△三等、澁木警部△四等、土屋警部補△五等、齊藤內勤

啞者少女
平署で保護檢束

一昨六日江名町地內を徘徊する年齢十六、七才位の跣足でボロを着た擧動不審の女あり屆出により保護檢束したが何せ同人は啞者のため名前、住所、年齢等一齊不明で同署でも取調べに弱り切つてゐるが知人は至急同署へ申出るやうにと

獻金
記念日の赤誠

昨七日の事變記念に平市役所に次の獻金、寄附があつた

平市大町五[illegible]子供隣組朝日藤美津子、宇佐美光子、朝日藤淸子、大野カツ子さんの四人は小遣錢を貯めた二圓六十九錢を奉公會へ

×

平第一國民學校高等二年松本弘君は去る四月からの小遣錢十二圓八十六錢を國防獻金

×

平第三國民學校初等科二年野澤功君は小遣錢を節約、金五圓を國防獻金

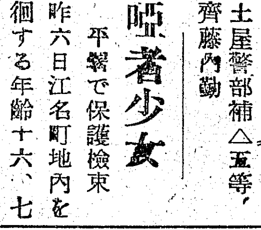
°°°稅務協會員°°°

去る一日以來愛知縣安城町並に丹羽郡古內町の稅務關係視察してゐた平稅務協會員の一行は六日歸廳してゐた

映畫界

世界館（八日ヨリ）◎新興映畫加賀邦男、宇佐美淳、井上淸、黑田記代、大井正夫、宮川孝子主演「大都會」◎新興映畫鈴木澄子、羅門光三郎、南條新太郎、市川男女之助主演「羅生門」◎日本ニュース◎文化映畫

平館 ◎松竹映畫川崎弘子主演「母は强し」（八日…九日）



商況
（八日）

	高	安
【野菜】		
筍	七〇	
玉葱	四〇	
人參	五八	
大根	三五	
ニラ	九〇	
馬鈴薯	三六	
ナダ豆	九〇	
キウリ	五八	
ナス	八〇	
トマト	九〇	
【鮮魚】		
アラマキ		二九、四
アジ		二二、五
サバ		一四、四
クロガラ		四五、〇
大鯛		一、一〇〇
小鯛		九〇、〇

平市慶弔錄

【婚姻】平市字北目町百三十六番地小溝照子（二七）さんと千葉縣市川市大字市川堀井春一（二七）さん

【死亡】▲平市字紺屋町七番地水竹喜久子（三）さん▲平市字才槌小路十八番地鈴木フヨ（八三）さん▲平市字杉平二十九番地梶原景明（一八）さん▲平市字一丁目三十一番地草野美代子（六）さん▲平市字田町六十二番地伊藤平太郎（五九）さん

今晚 南の風薄曇り
明日 南の風後曇り模樣

（九日）
滿潮 前三、三五 後五、四〇
干潮 前一〇、五五 午一〇、四五

軍服と國民服

洋服は高島屋

平市二丁目通 電話三八六番

土木建築
鐵道
船舶仲仕
三崎組
太田勝康
事務所 小名濱町日素前
電話五〇番

推薦團体

銃後慰問 藝能文化祭

期日…七月廿七日午後五時
場所…平市公會堂
會費…五十錢
（出征遺族・傷痍軍人招待、産業戰士團体割引）

出演題目は追つて發表

『洋樂』イワキマンドリン合奏團
松美BM研究所
片倉ブラスバンド
イツハラブラスバンド

『和樂』長唄……杵屋登茂代一門
三曲……野喜久會
同靜久會

『舞踊』花柳登代藏一門

主催 磐城文化協會

信濃善光寺
佐渡ヶ島 團体募集

期日 昭和十六年八月十日（日）午前六時半驛發
會費 御一名樣金參拾八圓五十錢也（汽車賃、自動車、晝食、宿泊料ヲ含ム）（宿泊所、新潟、佐渡長野（澁温泉））
人員 五十名限り。〆切八月八日

注意…〆切ノ都合上御早ク御申込ヲ乞フ

主催 福島縣磐城旅行團
平支部事務所 田町一の井 電話一六七

文選女工 見習募集

高卒程度 年齢十五、六才

【希望者ハ本人來社アレ】

磐城毎日新聞社

第二十五回營業報告書

貸借對照表
（昭和十六年五月三十一日現在）

資産之部	（借方）
未拂込株金	八四、〇〇〇、〇〇
土地建物	一三、八七〇、〇七
營業權	二〇、一八六、二三
什器	五五八、一五
金銀勘定	三、〇五〇、七七
合計	一二一、六六五、二二

負債之部	（貸方）
株金	一二〇、〇〇〇、〇〇
法定積立金	四一〇、〇〇
準備積立金	一〇〇、〇〇
假受金	四九九、一八
未拂配當金	四八七、三八
前期繰越金	一六八、六六
合計	一二一、六六五、二二

右之通り候也

昭和十六年六月二十九日

株式會社 平魚市場

時局座談會

星一先生を中心とする時局座談會を左の通り開催致します

日時 九日午後七時十分
會場 平市公會堂日本間

【一般の來會歡迎】

日進會